

## 高温や水不足に負けないように、稲の生育に応じた管理をしましょう!

令和7年産コシヒカリは、7月の記録的な高温・少雨などの気象要因に加え、穂肥不足などの栽培要因により、収量・品質が低下した地域がみられました。

夏の異常気象に負けないよう、穂肥を十分に施用できる稲姿を目指しましょう!

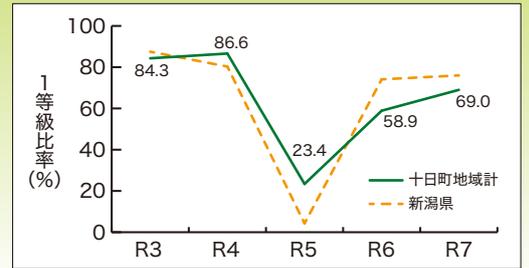


図) 1等級比率の推移

### 令和7年産の品質・収量低下要因

① 遅い消雪による春作業の遅れ  
移植期の低温・低日照

② 6月下旬以降の高温・少雨

③ 倒伏を懸念した控え目な穂肥  
全量基肥肥料での追加穂肥不足

④ 出穂がばらつき、適期にカメムシの  
薬剤防除ができず

初期生育が遅れ、茎数が少ない

葉色の低下

農業用水の不足

後期栄養不足

一穂粒数の減少  
充実不足

部分カメ

除青未熟

品質低下

収量低下



高温年で穂肥が足りないと  
コシヒカリは収量・品質が低下するよ

### 令和8年産米の品質・収量向上対策

#### I 基本技術の徹底

- ① 継続的な土づくり
- ② 健苗の適期移植
- ③ 適期中干しの開始



#### II 異常気象対策

- ① 葉色低下時の追加穂肥
- ② 水不足に備えた漏水防止
- ③ 地域内での用水の有効活用

⇒初期生育を確保し、穂肥が施用できる稲姿にしましょう!

⇒穂肥と水管理で出穂期以降の後期栄養を確保しましょう!

水稻栽培に役立つ情報をLINEで簡単に受け取れます!

- 本年の生育・気象状況に応じた栽培管理
- 緊急情報 (フェーン・異常高温等)
- 基本栽培技術
- 研修会の案内等



二次元コード読み取り  
→ 簡単に友だち登録

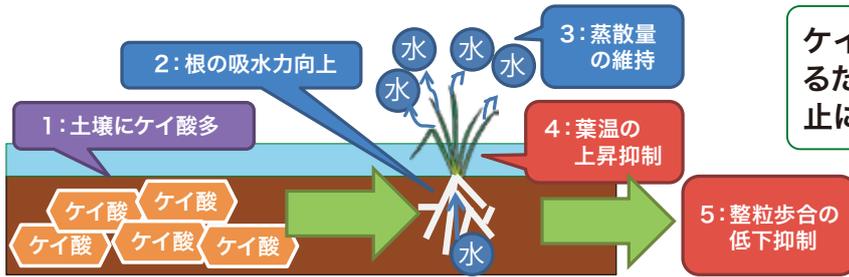
ID検索: @219dutcb

十日町農業普及指導センター(水稻情報)

# I 基本技術の徹底 ～倒伏を防ぎ、穂肥が施用できる稲姿へ～

## ① 継続した土づくり

近年の異常高温に対応するため、継続した土づくりを実施しましょう



ケイ酸は高温に強くなるだけではなく、倒伏防止にも効果があります！

土づくりの効果を得るには3～5年程度の継続が必要です



図) 登熟期が高温の場合のケイ酸の効果

## ② 健苗の適期移植

良質茎を早期に確保するため、移植前追肥(弁当肥)を施用し、健苗を適期移植しましょう

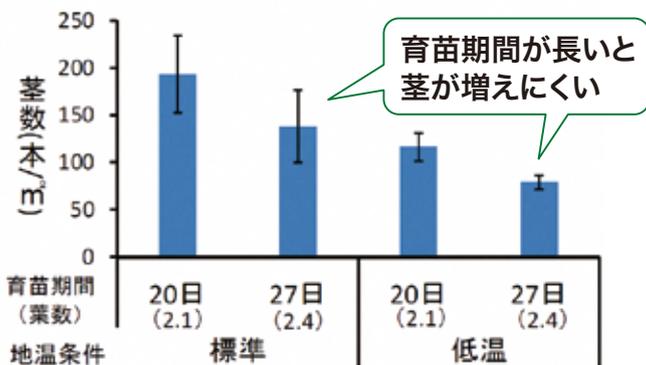


図) 稚苗の育苗期間が移植20日後の分けつ発生に及ぼす影響 (H25-26、作物研究センター)

図) 稚苗における健苗と老化苗の比較 (R4 十日町市山谷)

近年は高温で苗の生育が早まっているから、は種や移植の時期を見直そう！



移植前追肥(弁当肥)を施用することで、移植後の活着が早まります！



## ③ 適期中干しの開始

下位節間の伸長を抑制して倒伏を防止するため、遅れずに中干しを始めましょう

中干しの効果	溝切りの効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>○無効茎の発生や下位節間の伸長を抑制⇒倒伏軽減</li> <li>○受光態勢の向上</li> <li>○根の健全化</li> <li>○地耐力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中干し効果の増大</li> <li>○迅速なかん水</li> <li>○排水性の向上</li> </ul>



用水が少ない場合は、降雨に合わせて落水し、稲に有害なガスを抜きましょう！



図) 中干しの開始時期別の成熟期の姿 (R3 十日町市新屋敷)

図) 中干し終了・かん水時の田面の状況

## Ⅱ 異常気象対策 ～高温に負けない穂肥と水管理～

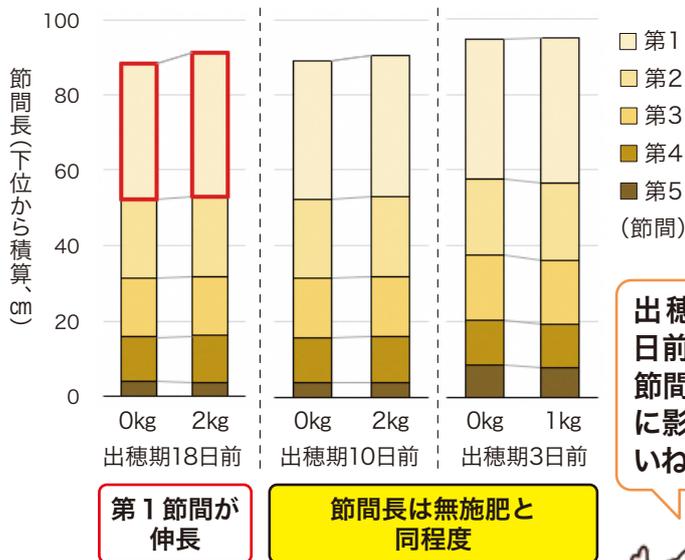
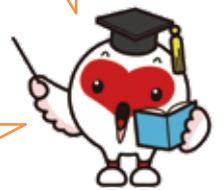
### ① 葉色低下時の追加穂肥

後期栄養を確保するためにも穂肥は確実に施用し、異常高温等で葉色が低下した時は生育診断を実施した上で追加穂肥を施用しましょう

表) コシヒカリの穂肥の考え方

穂肥時期	施用時期 (出穂前日数)	目的	分施の場合	全量基肥の場合
1回目	18~15	籾数確保 (収量向上)	草丈と葉色から穂肥量と施用時期を判断	-
2回目	10	品質向上	後期栄養確保のため <b>確実に施用</b>	出穂期10日前頃に生育診断して <b>葉色が薄い場合は追加施用</b>
3回目	3	品質向上	2回目穂肥を施用しても <b>葉色が薄い場合は施用</b>	

異常高温時は全量基肥肥料も追加穂肥が必要だね!



葉色が薄い時は出穂前に追肥することで葉色を維持できるね!

出穂期10日前からは節間の伸長に影響しないね!

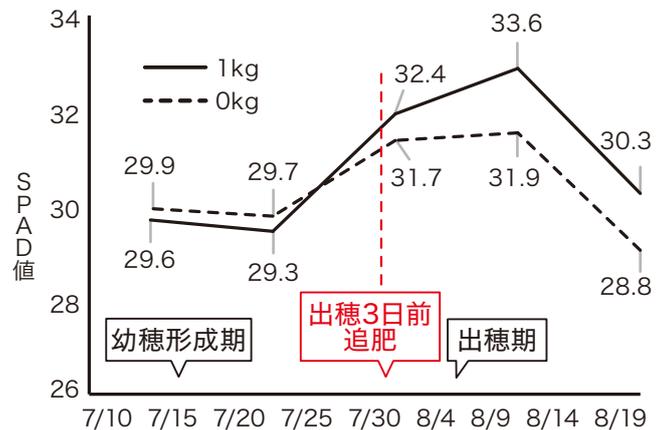


図) 時期別の穂肥による節間長への影響  
(作物研究センター(出穂期18,10日前:H27、出穂期3日前:R6))

図) 出穂期3日前追肥による葉色値の推移  
(R7作物研究センター、長岡市内の1ほ場での結果)

### ② 水不足に備えた漏水防止

ほ場や畦畔の亀裂を修復して漏水を防ぎ、丁寧な代掻きで水持ちを改善しましょう



タイヤで鎮圧して、あぜ際からの漏水を防ぐ!

図) トラクターによるあぜ際の鎮圧  
(農研機構HPより引用)

代掻きは、土が8割見える状態で、丁寧に行いましょう!

図) 浅水の代掻き作業の様子



### ③ 地域内での用水の有効活用

地域全体に用水を行き渡らせるため、事前に水不足時の管理体制を話し合いましょう

#### 用水を有効活用した事例(水沢地区)

- 令和7年7月の用水が少なくなった時に、地域ごとに順番(日時や時間)を決めて、時間帯を区切ってかん水(番水)を実施
- 耕作者ではなく、番水当番が、ほ場ごとのかん水量を調整し、地域全体で用水を有効活用



限りある水をみんなで大切に使いましょう!



# 作期分散により異常気象のリスクを分散しましょう!

高温や渇水、豪雨による倒伏など様々なリスクを分散させるため、  
経営規模に応じて、品種構成の見直しや移植時期の拡大を検討しましょう!

## ① 品種構成の見直し

大規模経営体では、高温や倒伏に強く、コシヒカリと作期が異なる品種を導入することで、用水が必要な時期や収穫時期が分散し、経営を安定させることができます!

表) 品種別の特性および10a当たりの売上試算 (R8.1月時点) ※R8産米の価格を保証するものではありません

品種	品種特性			等級	60kgあたりの 価格差※2 (円/60kg)	目標収量 (kg/10a)	10aあたりの 売上差※2 (円/10a)
	熟期※1	倒伏耐性	高温耐性				
コシヒカリ	中生(±0)	弱	やや弱	1	±0	510(8.5俵)	±0
				2	-1,500	510(8.5俵)	-12,750
つきあかり	早生(-12)	やや強	中	1	-2,000	660(11俵)	+60,500
				2	-2,600	660(11俵)	+53,900
にじのきらめき	中生(+5)	強	やや強	1	-2,000	660(11俵)	+60,500
				2	-2,600	660(11俵)	+53,900
新之助	晩生(+7)	やや強	強	1	-2,000	540(9俵)	-1,500
【参考】 倒伏したコシヒカリ	(倒伏により収量・品質低下)			2	-1,500	420(7俵)	-60,000

他品種を作付して収穫時期を分散させることで、コシヒカリを適期に収穫できます!

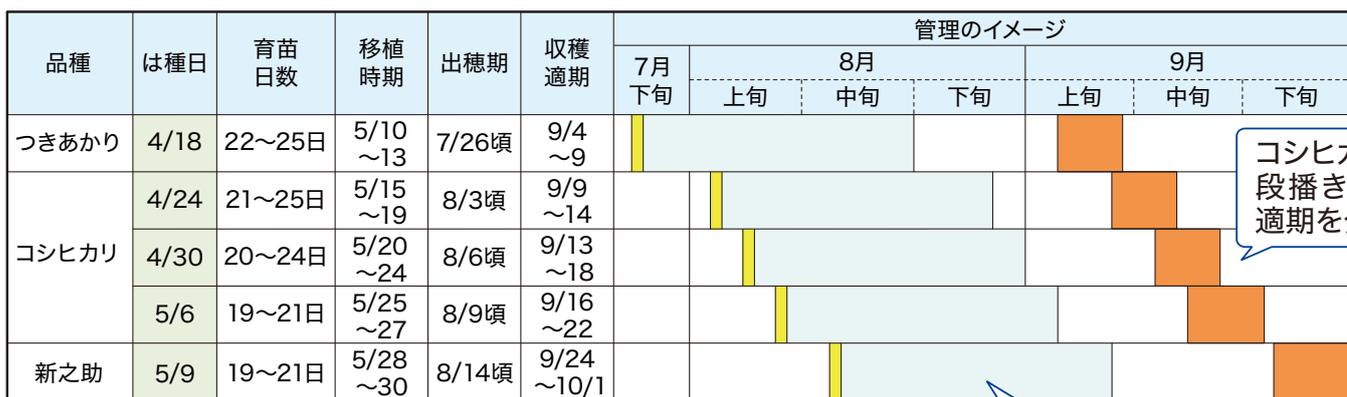


※1 熟期の ( ) はコシヒカリと成熟期の日数差

※2 コシヒカリとの差、JA魚沼の令和7年産米仮渡金基準価格 (R7.8月時点) より試算

## ② 移植時期の拡大

コシヒカリの場合、同時期には種した苗を移植時期に幅をもたせて植えても、出穂期は大きくずれません。は種日を変えることで健苗を適期に移植し、リスクを分散しましょう!



コシヒカリでも段播きで収穫適期を分散!

図) 作期分散のイメージ

■ 出穂期 □ 出穂後に用水が必要な期間 ■ 収穫適期

早生と晩生を導入することで用水が必要な期間を分散

### コシヒカリ以外の品種の作付けを希望する方へ

品種によっては必要とする種物の数量が確保できない可能性があります。作付けを希望する場合は、栽培する前年の7月までにJA等にご相談ください。なお、新之助の作付けには新之助研究会に所属することなどの要件があります。

## 令和8年2月 十日町地域農業振興協議会

十日町市、津南町、JA 魚沼、NOSAI 新潟魚沼支所、十日町農業普及指導センター

普及センターのHPでも公開しています!

十日町普及センター

